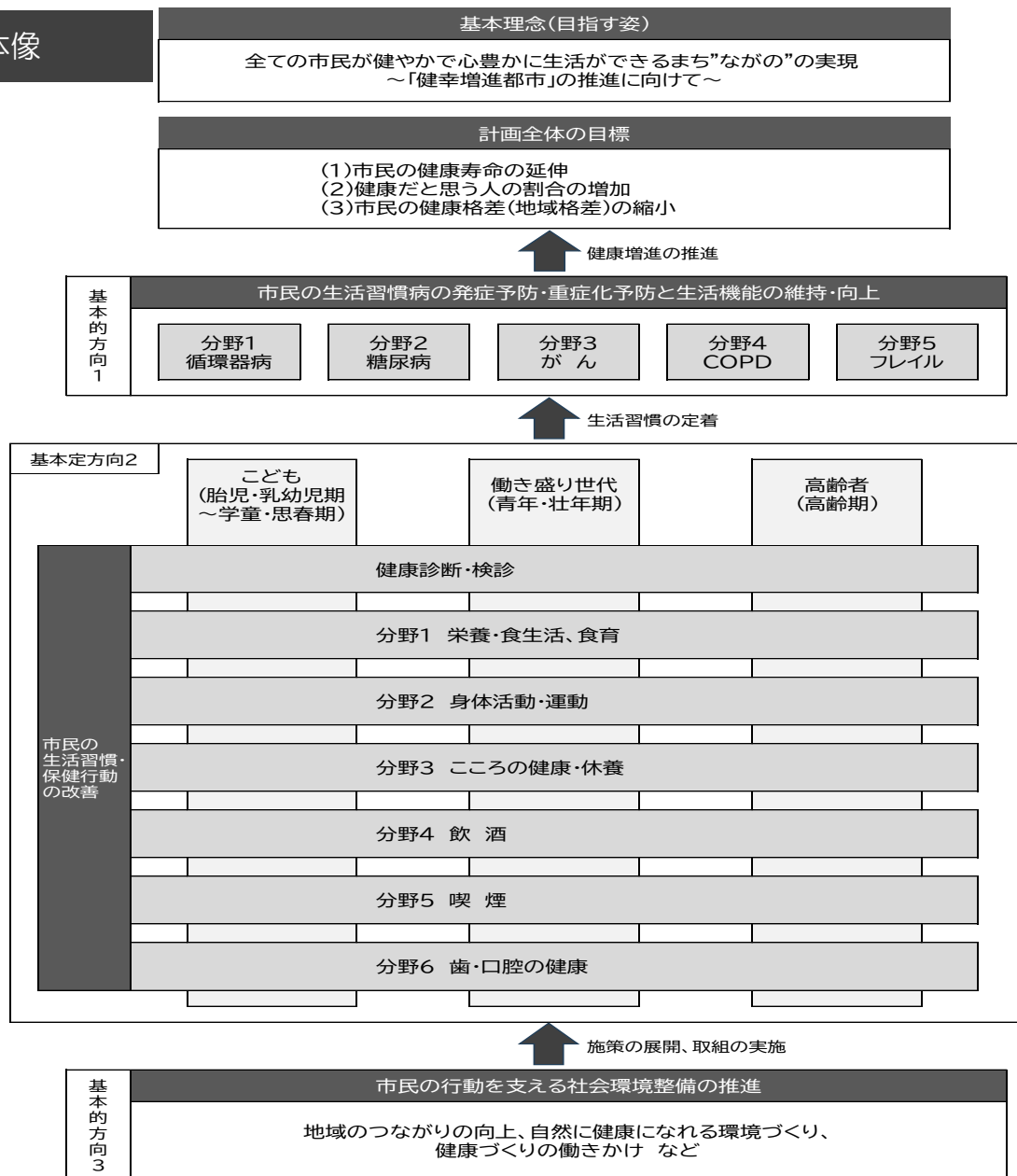


「ながの健やかプラン21（第二次）」目標・指標の進捗状況

計画の全体像



【令和6年度の数値について】
※「健康づくりに関するアンケート」など、令和6年度に実施していないものについては、値の欄が「-」となっております。

1 計画全体の目標

「市民の健康寿命の延伸」「健康だと思う人の割合の増加」「市民の健康格差(地域格差)の縮小」

判定 ◎：目標値に達しているもの
○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの
－：現時点で判定できないもの

計画全体の目標

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑ 増目標 ↓ 減目標)	計画期間 (R6～R11)												目標値設定の 考え方	出典		
				R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11					
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減				
1	健康寿命の延伸 (日常生活動作が自立している 期間の平均)	(令和2年) 健康寿命	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	81.3	+0.2	－											健康日本21(第 二次)目標の考 え方と同じ	国民健康保険中 央会「KDB(国 保データベース) 厚生労働省「市 区町村別生命 表」	
		男性 81.1年																	
		女性 84.4年		85.1	+0.7	－													
		平均寿命																	
		男性 83.1年	－	－	－														
		女性 88.3年	－	－	－														
2	健康だと思う人の割合の増加 (自分が健康だと思う(主観的 健康観の高い)人の割合)	(令和4年) 85.4%	↗ 増加	－	－	－											健康日本21(第 二次)目標の考 え方と同じ	健康づくりに関 するアンケート	
3	健康格差(地域格差)の縮小	(令和3年)	上位8地区の平均 の増加分を上回 る														健康日本21(第 二次)目標の考 え方と同じ	KDBシステム長 野市地区別国保 特定健診とレセ プトの突合一覧 表	
	(40歳～60歳の国保特定健診受 診率(32地区別))	下位8地区 22.8%	下位8地区の平均 の増加	24.8	+2.0	×													
		上位8地区 33.7%		38.2	+4.5														
	(140/90mmHg以上の高血圧未治 療者の割合(32地区別))	下位8地区 56.4%	上位8地区の平均 の減少分を上回 る	57.2	+0.8	×													
		上位8地区 40.6%		40.3	△0.3														
	(「糖尿病型」の未治療者の割 合(32地区別))	下位8地区 40.5%	下位8地区の平均 の減少	35.5	△5.0	◎													
		上位8地区 17.9%		20.8	+2.9														

【R6評価】

健康寿命は男女ともに増加した。市内32地区の健康格差の縮小について、40～64歳国保特定健診受診率は増加したが、目標である下位8地区が上位8地区の平均増加を上回ることにはなかった。高血圧未治療者の割合については、下位8地区の未治療者が増加したため格差が拡大した。「糖尿病型」の未治療者の割合については、下位8地区の未治療者が減少したため格差が縮小したが、上位8地区の未治療者が増加したことは課題である。今後も引き続き、地区担当保健師等による受診勧奨を行いながら地道に受診率向上に取り組んでいく。

2 基本的な方向と各分野の目標

【基本的方向1】市民の生活習慣病の発症予防・重症化予防と生活機能の維持・向上

循環器病

判定 ◎：目標値に達しているもの
○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの
-：現時点で判定できないもの

基本的方向1 - 分野1

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑ 増目標 ↓ 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典
				R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11			
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減		
1	虚血性心疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対)	(令和3年)		(令和5年)		令和6年度は R8年7月算出予定						健康日本21(第三次)の目標値を参考	人口動態統計				
		男性 45.8 ※	↓ 減少	38.0	△7.8									◎			
2	脳血管疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対)	(令和3年)		(令和5年)		※計画では、年齢調整死亡率の基準人口について、昭和60年(1985)モデル人口を継続使用してきたが、現実の人口構成とは異なっており、国も令和2年(2020)では高齢化を反映した平成27年(2015)モデル人口に改定している。よって、長野市においても、平成27年(2015)モデル人口を使用した目標値に修正。						健康日本21(第三次)の目標値を参考	人口動態統計				
		男性 88.5 ※	↓ 減少	102.8	+14.3									×			
3	循環器疾患により要介護・要支援に認定された人の数	(令和3年)										現状値より減少	要介護・要支援高齢者等実態調査				
		脳卒中 17.7 %	↓ 減少	—	—	—											
4	LDLコレステロール160mg/dl以上の割合 (40~74歳)	(令和4年)										健康日本21(第三次)を参考に現状値から25%減少	長野市国保特定健診受診結果				
		男性 7.7 %	↓ 5.8%	6.9	△0.8	○											
5	収縮期血圧130mmHg以上の割合 (40~64歳)	(令和4年)										前計画の目標値(現状値から5%減少)を継続	長野市国保特定健診受診結果				
		男性 40.6 %	↓ 38.6%	38.4	△2.2	◎											
6	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合 (40~74歳)	(令和3年)										前計画の目標値(現状値から25%減少)を継続	長野市国保特定健診受診結果				
		男性 51.0 %	↓ 38.3%	49.9	△1.1	○											
7	食塩摂取量	(令和4年)										日本人の食事摂取基準2020を参考	尿中ナトリウム測定結果				
		男性 12.8 g/日	↓ 7.5g/日	—	—	—											
8	国保特定健診受診率	(令和3年)										長野市国保データヘルス計画の目標値を参考	長野市国保特定健診				
44.4 %	↗ 60.0%	47.1	+2.7	○													
9	国保特定健診保健指導実施率	(令和3年)															
		42.0 %	↗ 60.0%	57.6	+15.6	○											

【R6評価】
LDLコレステロール160mg/dl以上の割合、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合について、男女ともに減少しており改善傾向である。収縮期血圧130mmHg以上の割合については、男女ともに目標を達成したが、依然高い状況であるため、さらなる改善を目指して取り組んでいく。
国保特定健診受診率及び国保特定健診保健指導実施率については増加したが、目標達成に向けて今後も戦略的に取り組む必要がある。

糖尿病

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向1-分野2

No.	目標 (指標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (増目標 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典	
				R6		R7		R8		R9		R10		R11				
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減			
1	HbA1c5.6%以上の割合 (40~64歳)	(令和3年) 男性 46.2% 女性 44.1%	↘ 39.3% ↘ 37.5%	48.3 43.2	+2.1 △0.9	×											前計画の目標値 (現状値から15% 減少)を継続	長野市国保特定 健診受診結果
2	血糖コントロール指標における コントロール不良者 (HbA1c8.0% 以上) の割合 (40~74歳)	(令和3年) 0.95% (男性1.47%・女性0.58%)	↘ 0.71%	0.97 男性1.58% 女性0.53%	+0.02 男性 +0.11 女性 △0.05	×											長野市国保デー タヘルズ計画の 目標値(現状値か ら25%減少)を継 続	長野市国保特定 健診受診結果
3	糖尿病受信者のうちの新規透析 患者数	(令和3年) 79人	↘ 減少	—	—	—											健康日本21(第三 次)の考え方を参 考	長野県・国保連合会 糖尿病性腎症評価指標 長野市国保特定健診
4	メタボリックシンドロームの該 当者及び予備軍の割合 (40~74歳)	(令和3年) 男性 51.0% 女性 17.3%	↘ 38.3% ↘ 13.0%	49.9 17.2	△1.1 △0.1	○											前計画の目標値 (現状値から25% 減少)を継続	長野市国保特定 健診受診結果
5	国保特定健診受診率 (再掲)	44.4%	↗ 60.0%	47.1	+2.7	○											長野市国保デー タヘルズ計画の 目標値	長野市国保特定 健診
6	国保特定健診保健指導実施率 (再掲)	42.0%	↗ 60.0%	57.6	+15.6	○												

【R6評価】
40~64歳のHbA1c5.6%以上の割合について、男性が増加し、それに伴い血糖コントロール指標におけるコントロール不良者 (HbA1c8.0%以上) の割合も男性が増加した。
40~74歳のメタボリックシンドロームの該当者については、男女ともに減少したが、目標値を目指して更なる普及啓発及び保健指導等を継続していく。

がん

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向1-分野3

No.	目標 (指標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (増目標 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典	
				R6		R7		R8		R9		R10		R11				
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減			
1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率 (人口10万対)	(令和3年) 109.16 ※	↘ 減少	(令和5年) 103.75	△5.4	◎	令和6年度は R8年7月算出予定										健康日本21(第三 次)の目標値	人口動態統計
2	指標に基づく全てのがん検診の 受診率	胃がん男性 46.1% 胃がん女性 38.1% 肺がん男性 50.0% 肺がん女性 47.2% 大腸がん男性 51.3% 大腸がん女性 45.9% 乳がん 32.0% 子宮頸がん 29.0%	↗ いずれも 60%	—	—	—											健康日本21(第三 次)の目標値	健康づくりに関 するアンケート
3	がん検診の精密検査受診率	胃がん 96.6% 肺がん 88.5% 大腸がん 72.5% 乳がん 93.6% 子宮頸がん 97.4%	↗ いずれも 90%	93.8 89.3 69.4 90.6 97.8	△2.8 +0.8 △3.1 △3.0 +0.4	◎ ○ × ◎ ◎											第4期がん対策 推進基本計画 (国)の目標値	健康課集計

【R6状況】
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の基準人口について、計画策定時の昭和60年モデル人口から現代(高齢化)の人口構成を反映した平成27年モデル人口に改定した(着色部分)。計画策定時は「109.16」であったが、令和4年度「104.01」、令和5年度「103.75」と減少傾向にあり、対策の成果(検診、治療の進歩)によりがんで亡くなるリスクは低下している。また、がん検診の精密検査の受診状況は、大腸がん以外は概ね90%以上の目標に届いている。参考までに、大腸がん検診の要精検査率は70歳以上の高齢者が高い傾向にあり、年齢的なリスクから受診(大腸内視鏡検査)をためらうケースも多く、75歳以上の精検査受診率は「67.3%」に留まっている。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向1-分野4

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (増目標 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典	
				R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11				
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減			
1	COPDの外来レセプト件数	40~74歳 男性 5.5 女性 3.3 75歳以上 男性 23.7 女性 6.6	↘ 5.0 ↘ 3.0 ↘ 23.0 ↘ 6.2	5.4 3.7 22.2 6.9	△0.1 +0.4 △1.5 +0.3	○ × ◎ ×											【男性】 令和元年度～令和4年度の減少割合を参考に現状値より減少 【女性】 令和元年度～令和4年度において最も低い値とする	KDB(国保データベース)システム・後期高齢者健診
2	COPDの死亡率	(令和3年) 13.5 (男性21.6・女性5.8)	↘ 10.0	-	-	-	令和6年度は R8年7月頃公表予定										健康日本21(第三次)の目標値	長野市国保特定健診受診結果
3	COPDを認知している人の割合	53.4%	↗ 80.0%	-	-	-											前計画の目標値が未達成のため継続	健康づくりに関するアンケート

【R6評価】

COPDの外来レセプト件数について、女性は増加していたが、男性は減少しており、75歳以上では目標値を下回った。禁煙支援や喫煙・受動喫煙防止の周知啓発を引き続き行い、男女ともに目標達成を目指していく。

フレイル

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向1-分野5

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (増目標 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典	
				R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11				
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減			
1	フレイル関連12項目のうち4項目以上該当者の割合	(令和3年) 33.4%	↘ 減少	30.2	△3.2	◎											東京都健康長寿医療センター研究所「日本における高齢者を対象とした健康診査で使用される健康評価質問票の基準妥当性」	後期高齢者健診質問票(人間ドック含まない)集計結果
2	後期高齢者健診受診率	(令和3年) 43.0%	↗ 増加	52.2	+9.2	◎											現状値より増加	長野市後期高齢者健診
3	骨粗鬆症健診受診率	5.1%	↗ 15.0%	4.6	△0.5	×											健康日本21(第三次)の目標値	長野市骨粗しょう症検診
4	過去1年間に歯科健診を受診した人(20歳以上)の割合	57.1%	↗ 59.0%	-	-	-											平成27年度～令和4年度の増加率を参考	健康づくりに関するアンケート

【R6状況】

計画策定時の値と比較し、フレイル関連12項目のうち4項目以上該当者の割合については減少を、後期高齢者健診受診率については増加し、それぞれ目標を達成している状況である。骨粗鬆症健診受診率については、微減しており目標の15%を達成できないでいる。最終年までに目標達成に向け、毎年増加に転じるよう引き続き努める。

【基本的方向2】市民の生活習慣・保健行動の改善

栄養・食生活、食育

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向2 - 分野1

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑ 増目標) (↓ 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典	
				R6		R7		R8		R9		R10		R11				
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減			
1	適正体重を維持する人の割合																	
	①肥満の減少																健康日本21(第三次)の目標値を参考	長野市学校保健統計
	小学5年生・肥満度20%以上	男子 14.0 %	↓ 減少	11.7	△2.3	◎												
		女子 7.6 %	↓ 減少	8.0	+0.4	×												
	40~64歳・BMI25以上	男性 36.1 %	↓ 減少	36.1	+0.0	○												
		女性 21.9 %	↓ 減少	20.0	△1.9	◎												
	②やせの減少															現状値から10%減少	長野市国保特定健診・後期高齢者健診	
	若年女性(20歳代~30歳代) BMI18.5未満	15.7 % (20歳代17.3%、30歳代14.8%)	↓ 15.0%	13.9	△1.8	◎												
	65歳以上の男女・BMI20以下	20.4 % (男性13.2%、女性25.4%)	↓ 18.0%	22.4	+2.0	×												
2	食塩摂取量(再掲)	(令和4年)														日本人の食事摂取基準2020を参考	尿中ナトリウム測定結果	
		男性 12.8 g/日	↓ 7.5g/日	—	—	—												
		女性 11.1 g/日	↓ 6.5g/日	—	—	—												
3	野菜料理を食べる人の割合	朝食 65.6 %	↗ 増加	—	—	—										前計画の目標値(現状値より増加)を継続	健康づくりに関するアンケート	
		昼食 75.3 %	↗ 増加	—	—	—												
4	朝食を欠食する人の割合	小学生														前計画の目標値(現状値より増加)を継続	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	
		男子 2.5 %	↓ 減少	3.1	+0.6	×												
		女子 1.7 %	↓ 減少	2.6	+0.9	×												
		20歳代~30歳代														前計画の目標値(現状値より増加)を継続	健康づくりに関するアンケート	
	男性 24.8 %	↓ 減少	—	—	—													
		女性 18.7 %	↓ 減少	—	—	—												

【R6状況】
小学5年生男児の肥満度20%以上はやや減少したが、女兒は微増している。40~64歳のBMI25以上の割合は3人に1人という高い状況の横ばいである。やせについては、20~30歳代女性は減少し目標を達成しているが65歳以上では男女とも増加している。
小学5年生の朝食欠食は男女とも微増しておることから、全世代に対して朝食の必要性を知ってもらい、朝食を食べる習慣がつくよう啓発していく必要がある。
調査を毎年実施しない項目については、取組の評価としてどのタイミングで行うか検討し、最終評価までに実態を把握するようにしたい。

身体活動・運動

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向2 - 分野2

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑ 増目標) (↓ 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典
				R6		R7		R8		R9		R10		R11			
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減		
1	1週間の総運動時間(体育授業を除く)が60分未満の児童の割合	小学5年生男子 9.7 %	↓ 6.0%	9.7	+0.0	○										平成26年度~令和4年度の最も低い値を下回る値とする	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
		小学5年生女子 19.6 %	↓ 15.0%	18.0	△1.6	○											
2	週1回以上運動を行う20歳以上の人の割合	(令和4年) 60.7 %	↗ 65.0%	58.7	△2.0	×										長野市スポーツ推進計画と整合	第五次総合計画推進のための市民アンケート調査

【R6状況】
小学5年生女子の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が横ばい、女子はやや減少している。また、週1回運動を行う20歳以上の人の割合は減少していた。
目標達成に向けて、どの年代の市民においても、可能な範囲で現状より少しでも多く体を動かすことが健康増進につながることを引き続き啓発していく。

こころの健康・休養

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向2-分野3

No.	目標 (指標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑増目標 ↓減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典			
				R6		R7		R8		R9		R10		R11						
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減					
1	ストレスが過度であると感じている人の割合(20歳代~50歳代)	21.2%	↘ 減少	-	-	-												第2期信州保健医療総合計画の目標値を参考	健康づくりに関するアンケート	
2	ストレスを解消できている人の割合(20歳代~50歳代)	63.7%	↗ 増加	-	-	-														
3	睡眠で休養が取れている人の割合(20歳代~50歳代)	72.9%	↗ 80.0%	-	-	-												健康日本21(第三次)の目標値		
4	自殺死亡率(人口10万対)	16.7	↘ 11.7	16.1	△0.6	○												自殺対策大綱(国)の目標を参考	地域における自殺の基礎資料	
5	ゲートキーパー研修受講者累計人数	16,909人	↗ 22,000人	19,977	+3,068	○													年1,000人ずつ増加	健康課集計

【R6状況】
自殺死亡率については、減少しているものの目標値の11.7までは届いていない。ゲートキーパー研修受講者累計人数については、3,068人増と年1,000人ずつの増加を大きく上回る状況である。

飲 酒

※1日当たりの平均純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向2-分野4

No.	目標 (指標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑増目標 ↓減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典		
				R6		R7		R8		R9		R10		R11					
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減				
1	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合	男性 8.8%	↘ 減少	-	-	-												現状値より減少	健康づくりに関するアンケート(国民健康・栄養調査に準じて算出)
		女性 7.4%	↘ 減少	-	-	-													
2	妊娠中の飲酒割合	0.4%	↘ 0%	0.7	+0.3	×												前計画の目標値が未達成	4か月児健康診査集計結果
3	20歳未満の人の飲酒割合 (令和3年)	中学1年生男子 0.0%	↘ 0%	-	-	-												健康日本21(第三次)の目標値	未成年の喫煙・飲酒状況等調査
		中学1年生女子 0.0%	↘ 0%	-	-	-													
		高校1年生男子 0.6%	↘ 0%	-	-	-													
		高校1年生女子 0.4%	↘ 0%	-	-	-													

【R6評価】
現在、数値として示せる項目が少ないが、妊娠中の飲酒割合については、増加となっている。目標値の0%が達成できるよう、引き続き、マタニティセミナーにおいて妊娠中の飲酒による胎児や乳児に与える悪影響について周知していく。

喫煙

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向2-分野5

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑ 増目標 ↓ 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典		
				R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11					
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減				
1	20歳以上の人の喫煙率	11.7% (男性19.8%、女性5.4%)	↓ 10.2% (男性17.3%、女性4.4%)	-	-	-												平成27年度～令和4年度の減少率	健康づくりに関するアンケート
2	妊娠中の喫煙割合	0.9%	↓ 0%	0.9	+0.0	○												前計画の目標値が未達成	4か月児健康診査票集計結果
3	20歳未満の人の喫煙割合	(令和3年)																	
		中学1年生男子	0.0%	↓ 0%	-	-	-												
		中学1年生女子	0.3%	↓ 0%	-	-	-												
		高校1年生男子	0.3%	↓ 0%	-	-	-												
	高校1年生女子	0.0%	↓ 0%	-	-	-													
4	受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	0.5%	↓ 0%	-	-	-												
		医療機関	0.1%	↓ 0%	-	-	-												
		職場	10.9%	↓ 減少	-	-	-												
		家庭	9.3%	↓ 減少	-	-	-												
	飲食店	5.7%	↓ 減少	-	-	-													

【R6評価】
妊娠中の喫煙割合は横ばいである。妊娠中の喫煙は胎児の発育遅延や低出生体重などのリスクとなることを引き続き機会を捉えて普及啓発していく。

歯・口腔の健康

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向2-分野6

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (↑ 増目標 ↓ 減目標)	計画期間 (R6~R11)												目標値設定の 考え方	出典		
				R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11					
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減				
1	3歳児で4本以上のむし歯を有する子供の割合	1.5%	↓ 0%	1.8	+0.3	×													3歳児健康診査 歯科健診
2	12歳児でむし歯のない子供の割合	86.6%	↑ 95.0%	86.7	+0.1	○													歯・口腔の健康 づくりプラン (国)の目標値
3	40歳以上における歯周病を有する人の割合	64.7%	↓ 50.0%	63.3	△1.4	○													長野市歯周病疾患 患診
4	50歳以上における咀嚼良好者の割合	(令和3年) 82.6%	↑ 83.0%	82.6	+0.0	○													長野市国保特定 健診問診票集計 結果
5	過去1年間に歯科健診を受診した人(20歳以上)の割合(再掲)	57.1%	↑ 59.0%	-	-	-													平成27年度～令和4年度の増加率を参考

【R6状況】
一部、目標値は達成できなかったものの、改善傾向にあり目標値との差が縮まっている。3歳児で4本以上のむし歯を有する子供の割合については、引き続き4か月児、1歳6か月児、3歳児健診受診者及び7～8か月児健康教室参加者に対し、歯科相談を実施するなど、歯科衛生士、保健師、栄養士等の連携による支援に取り組んでいく。

【基本的方向3】市民の行動を支える社会環境整備の推進

判定 ◎：目標値に達しているもの ○：計画策定時の値から改善しているが目標値に達していないもの
×：計画策定時の値から悪化し目標値に達していないもの -：現時点で判定できないもの

基本的方向3

No.	目 標 (指 標)	現状値 (計画策定時の値)	目標値 (増目標 減目標)	計画期間 (R6~R11)														目標値設定の 考え方	出典
				R 6		R 7		R 8		R 9		R 10		R 11					
				対現状 増減	判定	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減	対現状 増減	対前年度 増減				
1	ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が来られていると思う人の割合	(令和4年) 41.3%	↗ 増加	40.8	△0.5	×												第五次長野市総合計画後期基本計画の目標	第五次長野市総合計画推進のためのアンケート調査
2	ご近所同士で交流をし、困ったときにお互いに助け合える関係を築こうとしている人の割合	(令和4年) 59.6%	↗ 増加	58.1	△1.5	×													
3	健康づくりに取り組みやすい環境が整っていると思う人の割合	(令和4年) 41.2%	↗ 増加	40.5	△0.7	×													
4	不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っていると思う人の割合	(令和4年) 18.0%	↗ 増加	18.2	+0.2	◎													
5	スポーツや運動を気軽にできる環境が整っていると思う人の割合	(令和4年) 53.7%	↗ 増加	49.0	△4.7	×													
6	健康づくりに継続的に取り組んでいる人の割合	(令和4年) 63.8%	↗ 増加	63.5	△0.3	×													
7	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる共食の回数	10.2 回/週	↗ 増加	—	—	—												現状値より増加	健康づくりに関するアンケート

【R6 状況】
「第五次長野市総合計画推進のためのアンケート」（企画課実施）の令和6年度実績値では、ほとんどの数値が計画策定時(令和4年度)の値を下回る結果となってしまった。
このうち、下落が顕著(△4.7ポイント)であった「5 スポーツや運動を気軽にできる環境が整っていると思う人の割合」におけるモニターの主な否定的意見としては、「もう少し安価でスポーツを始めるハードルの低い催しやイベントがあると良い」「料金が高すぎる。気軽に楽しめない」「費用がかかり気軽ではないです」など利用料に関するものや、「運動公園の近くに住んでいけば使いやすいと思う」などの物理的に課題があるものなどがあつた。